

5月18日の選考委員会で、『第5回日産財団理科教育賞』の大賞候補を以下の4件に決定いたしました！7/26(水)横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ5F「日輪」で行われる第5回理科教育賞贈呈式で、候補者による成果発表が行われ、大賞と理科教育賞が決定します。また、惜しくも大賞候補の選に漏れた2014年度助成校・団体28件の成果報告はポスターで展示し、贈呈式に参加される先生方の投票によって『理科教育賞ポスターセッション』を決定、褒賞いたします。

— 日産財団理科教育賞 —

子ども達の科学的思考能力や、教師の指導力を向上させる教育実践において、多大な成果をあげ、かつ成果の波及効果が期待できる実践に『日産財団理科教育賞』を授与します。その中で、特に2年間の実践による「学びの質の向上」が大きいと判断された実践を『大賞』に認定します。(大賞は該当なしの年もあり)

大賞：100万円 理科教育賞：50万円 ポスターセッション：20万円

【神奈川県代表】

横浜市立権太坂小学校

『一人ひとりが自分のよさを生かし、互いにかかわり高めあいながら自分の生き方を切り拓いていく子どもの育成をめざして』

～めざす子どもの姿に近づくための支援の在り方～

教師の支援が先にあるのではなく、問題解決の各プロセスで主題に沿った目指す子どもの姿を具現化し、そこに対する教師の具体的な支援の在り方を考察する。目指す子どもの姿が明確になることで研究会では教師の支援の有効性について検証を重ね、研究を深めていくことができると考える。



【栃木県代表】

下野市立石橋北小学校

『科学的な思考力を育てる授業の在り方
～タブレット端末等のICT機器の活用と
言語活動の充実を通して～』

本校児童の課題は、「思考力・判断力、表現力の育成」である。小学校という発達段階から考えると、具体的な事象を直接体験しながら科学的な方法で問題解決に当たる「理科・生活科」は最適である。さらに、思考力、表現力の育成には、「言語活動の充実」が有効であると考えた。これに、操作性に優れたタブレット端末を活用し、観察記録を充実させることで、言語活動を充実させ、科学的な思考力の育成をめざした。



【福岡県代表】

北九州市立企救中学校

『主体的な探究活動を通して、
科学的な思考力・表現力を育てる学習活動の創造』

本研究では『ノートづくり』を通して、「聴く力」「書く力」という基礎的な力を伸ばしながら、『ペア学習』からBS法に基づいた『班学習』への段階的な指導や、『ジグソー学習』などを使って話し合い活動を活性化することによって、生徒の「思考力」や「表現力」を育成する。



【福島県代表】

福島市立岡山小学校

『学ぶ喜びを実感できる授業づくり
～「つなげて考える授業」の実践～』

子どもたちに「学ぶことが楽しい」と感じさせ、「学ぶ喜び」を実感させるためには、「学びの主体は子ども」であることを強く意識しながら授業を構想していく必要がある。そのために子どもたちが追究の“必然性”を感じ、主体的な学びを自ら構築する力の育成をめざし、実践に取り組んできた。

